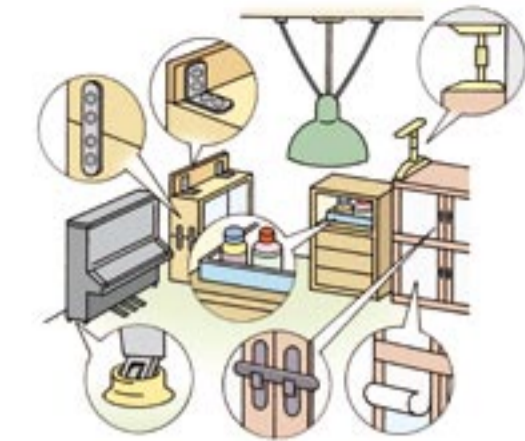


消防宗像



平成23年3月11日に発生した東日本大震災から、もうすぐ2年が経ちます。もう一度、あなたの地震に対する備えを点検してみましょう。

近年発生した地震で、家電製品の落下や、本棚が倒れた原因を調べると、約3割から5割が家具類の転倒・落下物によるものでした。震度5以上の強い地震では、テレビ、電子レンジなどの家具類の転倒・落下・移動は直接下敷きになるほか、転倒や落下、移動をした家具類につまずいて転ぶ、割れたガラスや食器などが、コンロの上部の物の落下や家具がストーブに転倒して出火するなどの被害



も引き起こします。特に、背の高い家具（食器棚、タンス、本棚など）や台の上に置く家電製品（テレビ、電子レンジなど）が、多く転倒・落下をしています。また、高層階（おおむね10階以上）においては、転倒落下に加え家具類の移動が多く発生していました。けがの防止や避難路の確保のためには、家具類の転倒・落下・移動防止対策を実施することが重要です。

イベント&ニュース

平成24年中の火災・救急・救助概況

火災件数	64件
救急件数	5,599件
救助件数	61件

昨年、火災・救助の件数は前年に比べ減少しました。

したが、救急件数については3年連続で増加し過去最高となりました。

概況の詳細については、宗像地区消防本部ホームページに掲載している「管内の統計情報」をご覧ください。
<http://www.munakata119.jp/>

春の全国火災予防運動実施

春先の火災が起りやすい季節にあたり「消すまでは出ない、行かない、離れない」を全国統一の防火標語に、3月1日（金）から7日（木）までの7日間、春季全国火災予防運動が行われます。この運動にあわせ、消防団・消防署合同での訓練やさまざまな行事が行われます。

《主な行事》

- 消防車両による火災予防普及啓発活動
- 幼年消防クラブ員の「防火ハッピー」着用による通園
- 防火ポスターの展示（展示場所：各市民センター、ミューニティーセンターなど）
- 各地域こども会による防火夜回りの実施
- JR赤間駅・福岡駅で

の防火チラシ・防火タオル配布（3月4日（月）、午後5時30分頃から同6時頃まで）

問い合わせ先
 消防本部予防課
 ☎（36）3080



日頃からの準備を！

避難場所での生活に最低限必要な準備をし、また負傷したときに応急手当ができるように準備しておきましょう。



また、地震時におち合う場所をあらかじめ定め、害用伝言ダイヤル177をおき、携帯電話「災害用伝言板」やNTT「災害用伝言ダイヤル177」の活用を家族で決めておきましょう。

災害用伝言ダイヤル 177

伝言録音は 177-1
 伝言再生は 177-2

市外局番からの電話番号

家族で防災会議を！

地震に備えて家族で話し合いましょ。

- 家の中でどこが一番安全か。
- 救急医薬品や火気などの点検。
- 幼児や老人の避難はだれが責任をもつか。
- 避難場所、避難路はどこにあるか。
- 避難するとき、だれが何をもち出すか、非常持出袋はどこに置くか。
- 昼の場合、夜の場合の家族みんなの分担をはっきり決めておく。



定期救命講習の受講者募集

募集人数 定員50人
 （受講料無料/修了証発行）

募集期間 開催日の5日前まで（ただし、10人に達しないと開催しない場合があります）
 申込方法 救急課まで（電話、ファックス、電子メールでも可）

講習時間
 △上級救命講習：午前9時から午後6時まで（8時間）
 *1時間の休憩があります

▽普通救命講習：午前9時半から午後0時半まで（3時間）
 7月20日（土）、12月15日（日）
 ●講習場所 宗像地区消防本部講堂

申込み・問い合わせ先
 消防本部救急課
 ☎（36）2455
 ☎（37）0011
 ✉kyukyu@munakata119.jp

